

道南地区
新規就農者
紹介



ほんだ ともひろ
ほんだ ともみ

本多 友拓 さん(45)
本多 知美 さん(50)

経営概要

- ◆ 地域 せたな町
- ミニトマト (ハウス 6 棟、30a)
- 白大豆 (75a)
- スイートコーン (ハウス 1 棟、0.5a)
- ◆ 栽培品目
- ◆ 就農年月 平成27年 4月
- ◆ 前職 農業関連企業

就農&QA -就農のココってどうなの?-

Q 就農を考えたきっかけを教えてください。

A 実家が水稻・畑作農家で、農業は元々好きでした。

農家を目指すきっかけは、会社勤めで2度目の単身赴任があった際、夫婦で一緒に暮らしたいと考えていたところ、知り合いの農家から就農を提案されたことです。

北海道立総合研究機構花野菜技術センターの総合技術研修のほか、せたな町と今金町の関係機関（町、JA等）の連携により、今金町の農業指導士の下で1年間の研修を受け、就農しました。

Q 就農して良かったこと、苦労したこと（していること）を教えてください。

A ●良かったこと

自分がやったことが良くも悪くも成果として返ってくるため、やりがいがあります。

農業は大変ですが、好きだからこそ楽しいです。

●苦労したこと（していること）

就農初年度は機械や資材を多く購入する分、支出が多く営農計画が非常に立てにくかったです。

Q 就農時に利用した制度や支援等があれば教えてください。

- A
- 青年就農給付金（準備型・経営開始型）
(現 就農準備資金・経営開始資金)
(国)
 - 青年等就農資金（国）
 - 産業担い手育成事業奨励金（せたな町）
 - 農地保有合理化等事業（公益財団法人北海道農業公社）

Q 今後の展望について教えてください。

A 営農技術は、研修先の指導農業士から学んでいるほか、農業改良普及センターにも相談しています。

また、現在、側窓自動開閉装置等のスマート農業技術を活用し、作業の省力化や、生育の安定化に取り組んでいます。

今後は、夫婦の身体と健康を保てるよう、作業計画を更に見直して、仕事量の平準化を図りたいです。

Q 最後に、就農を目指している皆様へアドバイスをお願いします。

A 研修先との信頼関係は、研修中も研修後もしっかりと構築するべきだと思います。研修先の指導農業士には、研修後の今でも非常に助けられています。